

## 令和6年度 霧島市食育推進検討委員会 会議要旨

開催日時	令和6年10月10日(木) 14時00分～15時30分		
開催場所	国分保健センター 1階 プレイルーム		
出席委員	深川委員、澤委員、千葉委員、川野委員、苧屋委員、外山委員、安留委員、岡元委員、隈元委員、江崎委員、橋委員		
事務局	<p>【健康増進課】鮫島課長、赤水健康づくり推進グループ長、徳重主査、窪田主事</p> <p>【すこやか保健センター】種子島所長、坂口地域保健第2グループ長、溝口主査、徳丸主任技師</p> <p>【学校給食課】西溜学校給食課長、塩川学校給食管理グループ長</p> <p>【農政畜産課】淵ノ上農政第1グループ長、田中主事</p>		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
<p><b>議事</b></p> <p>(1) 健康きりしま21(第4次)計画(第4章)について 分野別の具体的な取組 【健康づくり分野】栄養・食生活改善と食育推進(食育推進計画)</p> <p>(2) その他</p>			
<p><b>協議結果等の概要</b>      <b>委</b>：委員      <b>事</b>：事務局</p> <p>(1) 健康きりしま21(第4次)計画(第4章)について 分野別の具体的な取組 【健康づくり分野】栄養・食生活改善と食育推進(食育推進計画) ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの質問、意見、説明は以下のとおり。</p> <p>【健康きりしま21(第4次)進捗状況について・各課の取組状況について】</p> <p><b>委</b>： 3点、意見がある。1点目は、検討委員会資料の記載の仕方について。各課や各団体の取組を資料にまとめているが、個別目標ごとに各課や各団体の取組を記載したり、写真でまとめたりしてもらえると、この会で検討しやすいと感じた。そして、アンケートの記載では、アンケートをとった数の記載をお願いしたい。また、各課や各団体の取組内容についても、今年度だけでなく昨年度の活動実績、回数、参加人数などを具体的に記載していただきたいので、そのようなことが記載できるような調査の仕方を検討していただきたい。</p> <p>2点目は、朝食の摂取率について。個別目標1の目標値「朝食を毎日食べる小中学生の割合」が低い、もしくは横ばいになっている。各課で様々な取組をしているが、もっと活動を広めたり深めたりする必要がある。先程、事務局から説明があったように、各課だけではなく、この会に集まっている各団体にもっとこの課題に力を入れて欲しいというアピールをすべきである。例えば、団体が事業を開催したり資料を作ろうという場合には、どうしても費用の面で問題があるため、そのための予算措置などを検討していただきたい。</p> <p>3点目は、個別目標3の目標値「地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承している若い世代の割合」のアンケートの取り方について。アンケートの数値で「わからない」と答えた数値が33.5%と国の指標の4%よりも非常に多い。これはその答え</p>			

方がわからないのではないか。このわからないというのが、わかるように質問の仕方をすべきではないかと思う。アンケートでどのように聞いているか、質問したい。例えば、正しい箸の使い方を心がけている、正月は雑煮を食べるといった、日々の暮らしの中での具体例があれば、「わからない」が減って、「受け継いでいる」「受け継いでいない」ということが、指標としてはっきり出てくるのではないかと思う。

**事**： 1点目の資料の記載の仕方については、各課や各団体の食育の取組状況と、各個別目標がリンクしていないところがあるので、個別目標ごとに、取組内容、実績等を記載するように、来年度は検討していきたい。

2点目の朝食摂取の取組を広げていくというご意見については、先ほど説明させていただいたように、担当課だけではなく、学校や保育所、PTAといった関係機関と連携しながら取組をさらに進めていきたい。

3点目の個別目標3のアンケートの取り方では、正しい箸の持ち方といった具体的な記載の仕方ではなかったの、具体的にイメージできるような形でアンケートの記載の仕方を考えていきたい。そして、「わからない」と答える人の中には、郷土料理自体どういった料理なのかがわからない人もいると思うので、郷土料理の普及もしていきたい。

**委**： 学校給食に地場産物を入れるように毎回お願いしているが、先程の説明では体制づくりがまだできていないということでしょうか。

**事**： 学校給食に少しでも地域の食材をとということで、長年、霧島市産米の協議を続けてきた。昨年度、ようやくその協議が整い、今年度から学校給食で使用する米はすべて霧島市産米になっている。これについては、JAあいらや県の学校給食会の協力が進めることができたので、引き続き、関係組織との関わりを続けていきたいと考えている。

**委**： なぜこの質問したかという、県の食育推進協議会で、今年度は文書開催だったが、霧島市が取り組んでいる事業として、地場産の農産物を使うような組織を立ち上げたというような表現があり、うれしいと思い質問した。お米については進展があったということで、またこれからも引き続きお願いしたい。

**委**： 学校給食に霧島市産米を使用していることを市報や農協の広報誌等と連携して発信できればと思う。

**事**： 広報きりしまの給食通信で、学校給食について情報発信しているが、農協などの関係機関の広報誌も活用しながら、霧島市内産米100%の情報を広く市民に伝えていきたい。

**委**： 学校給食の件で、一部の保護者から、地元の食材を使用する時に給食費の増額があるのか、量が減ってしまうのかという声があったので、教えていただきたい。

また、PTAの方でも朝食摂取について家庭に伝えているが、難しい家庭がある中で、他県他市では朝食等を子ども食堂で提供しているところもある。朝食だけではなく、長期休みの給食がないときに、子どもの食生活が乱れるという現状もある。それも踏まえて、霧島市の子ども食堂の稼働についての情報があれば教えていただきたい。

**事**： 令和5年度から学校給食の公会計化のスタートと同時に、給食費は小学生で月4400円、中学生で5000円と市内全体で統一している。現在、物価高騰が続いているが、物価高騰に対する給食費を上回る食材費については、市の方で負担するように取り組んでい

る。地産地消との関係については、地元のものを使うから割高になるといったことは、あまり関係はないように感じている。地元農家が卸す食材の方が、かえって安かったりすることもある。

**事**： 先程、伝えた給食費については、令和5年度6年度7年度までは据え置きとしている。令和7年度において、その時の社会状況、物価高騰等を考慮して、令和8年度は改定する可能性はある。

そして、広報の仕方ではJAの広報誌等を使えばどうかとの意見をいただいたが、学校給食課としては、栄養教諭の先生方と連携をとりながら、給食の献立表で霧島市産米100%の周知を図っている。また、一部の給食センターにおいて、栄養価が高い麦ご飯を提供していたが、麦ご飯をあえて白米に切り換えて、霧島市産米をアピールしている。

**事**： 県に登録している子ども食堂の一覧が県のホームページに掲載されており、それによると、霧島市に子ども食堂が8か所あり、隼人に4か所、国分に4か所ある。対象としては、子どもや高齢者やひとり親、不登校の子どもを対象にしている。開催日は、土日や平日、月1回と各子ども食堂で異なる。

**委**： いろいろと情報をいただきありがたい。PTAが一番、直接保護者に情報を届けやすい組織だと思う。保護者に届くように努めたい。

**委**： 昨年度、霧島食育研究会の方で、子ども食堂に通う子ども向けの動画つきレシピを作った。当初は子ども食堂向けだったが、先程の話を聞いて、PTAの方々に活用してもらえるのではと思った。こちらで印刷費だけはもらうが、安価に提供できるので利用してもらえればと思う。また、霧島食育研究会のホームページには、そのレシピを全部動画で見られるようにしているので、ぜひ活用してほしい。

#### 【各団体の食育の取組状況について】

**委**：(霧島市学校保健会代表) 栄養教諭が担任とともに、食に関する指導を行っている。すべての学年で年間計画に入れている。

**委**：(始良地区歯科医師会霧島支部代表) 歯科からの食育、食べることの重要性を伝えていきたいと思う。支部に報告して、何か1つでも取組を始められるようにしていきたい。

**委**：(NPO法人霧島食育研究会) 私どもの活動は今年で21年目になり、食を大切にする文化を霧島で作ることを目的に、食文化の継承活動と食育活動をしている。昨年度は自主事業の他に、県内の小中学校300か所に郷土料理の動画DVDを配布した。霧島市にはすべての学校に配布している。先程伝えた子ども食堂向けの動画つきレシピ集は4000部を無料配布している。他にオンライン霧島里山自然学校などを開催して、実際に活動に参加できない子ども達もネットを通して、食の大切さを学ぶ活動をしている。今年度は19回目となる霧島食の文化祭を霧島公民館で12月1日に行う。

**委**：(霧島市食生活改善推進員連絡協議会) 私たちの活動は、乳幼児から高齢者を対象に、健康の案内役として活動をしている。乳幼児の離乳食作りや小学校での豆腐作り、家庭教育学級での郷土料理の指導、国分中央高校での料理教室、地域のひろば事業やサロンでの料理教室などの活動をしている。朝食の摂取率が伸びないということで、2月の健康福祉まつりのブースで、時短料理で手軽にできる朝食を展示する予定。

**委**：(霧島市保育協議会代表) 食材や調理に興味を持てるような環境づくりを各園でしている。昨年度、誤嚥による死亡事故が起こったが、職員全員で確認をしていこうと協議会の中で働きかけをしている。質問が2点ある。1点目は、今年度から食育の講話を園で実施しているということであったが、園にどのように打診したのか。歯磨き教室の中で一緒にしているということであったが、時間的なものと簡単な内容を教えていただきたい。2点目は、食に対する広報について聞きたい。食事をする際に、スマホ等の使用を一旦休めて食事することの声かけが大事だと考える。

**事**：今年度から歯磨き教室での食育講話を始めており、いくつかの園に声かけして実施した。歯磨き教室はフッ化物洗口と歯磨きがメインのため、20分程度の講話時間とした。実施した富隈幼稚園では保護者に対しても講話の要望があった。来年度は、広く周知し、実施できる園を増やしていきたいと考えている。食に関する家庭での生活習慣の啓発については、すこやか保健センターの方でも、健診等でスマホの使用についての注意喚起を行っているので、また周知をしていきたい。

**委**：(鹿児島県食育アドバイザー) 現在、食育アドバイザーは県に6人いる。食育アドバイザーの名前はいただいているが、今年は個人的にも活動している。私は元栄養教諭だが、栄養教諭が年々減少しており、「相談ができずに困っている」「辞めたい」という栄養教諭がいるため、手助けをしている。他に公民館教室で料理教室も行っている。食育の推進を考えたときに、食育はまず安心安全な食品があって、安心した食生活を送られるからこそ、食育はできるため、農業が一番大事だと思うようになった。農業従事者が減少する中で、地元でできたものを買って支えることが大事なので、機会がある時に話をするようにしている。10月、11月は国消国産の月間で、10月16日は国消国産の日である。食育のことを考えてもらうにあたって、一番に国消国産を考えていけたらいいと思っている。

**委**：(あいら農業協同組合代表) 子どもが農業体験できる「ちゃぐりんスクール」では、さつま芋の植え付けや販売体験、畜産農家での牛の世話、栽培した大豆を使った豆腐作りなどを計画している。また、花農家のことも周知するために花育も行っており、国分中央高校の園芸工学科の生徒を講師に招いて、フラワーアレンジの教室も計画している。他に、小学校から出前授業の依頼があり、芋の収穫も行う予定。学校給食に地場産物を使用する件については、霧島市産米のように1品目、2品目から使用したり、数量的に難しければ地域を決めて行うなど、できるところから始めることも大事だと思う。

**委**：(始良・伊佐地域振興局代表) 10月は鹿児島健康イエローカードキャンペーンの月間で、生活習慣を見直して改善しようということで普及啓発をしている。保健所の業務として、職場の健康づくり賛同事業所の登録をした事業所に対して、健康に関する情報提供を行ったり、健康に配慮する食事を提供する飲食店に対して、鹿児島食の健康応援店の登録をお願いしたりしている。また、栄養成分表示周知の啓発を行っている。

**委**：(霧島市学校栄養教諭代表) 献立作成では、地場産物や郷土料理を取り入れるようにしている。給食委員会の活動として、校内放送で毎日、献立紹介しており、1月に地場産物や郷土料理等の発表を予定している。保護者試食会を年2回実施しており、その中で保護者に食育教室等の取組もしている。家庭への発信としては、献立表や食育だよりで情報提供を行っている。5、6年生については、夏休みの宿題として朝食作りの紹介、

冬休みの宿題として郷土料理やおせち料理の紹介に取り組んでもらっており、それを廊下等に掲示している。子ども達はその掲示物に興味を持って見ている様子が見られている。それから、年間計画に沿って、家庭科や学級活動等で食に関する指導にも取り組んでいる。

**委**：(鹿児島県栄養士会代表) 私達は依頼を受けて、幼稚園、小学校・中学校の家庭教育学級や学校保健委員会で食育の話をしている。また、私は在宅管理栄養士として、市から依頼を受けて、乳幼児から高齢者を対象に仕事をしている。企業の健康教室の依頼もあり、30歳、45歳と年齢を区切ったセミナーの中で、朝食のことや地産地消の話をしている。コロナ禍前は、小学生やその母親と一緒に郷土のお菓子や料理作りをしていた。最近では母親向けの料理教室をしている。

**委**：(霧島市PTA連絡協議会) 本日、参加させていただいた中で、色々な情報をいただいたので、PTA協議会だけではなく、各学校に伝える仕組みを構築できるようにしていきたいと思う。

(2) その他  
⇒特になし

会議資料	<b>【配布資料】</b> ○令和6年度食育推進検討委員会資料
------	------------------------------------